

女性消防団員紹介

東大阪市消防団 山本 潤子

幼いころから消防車が好きという山本部長。市内を走る消防車や訓練、消火活動など実施を見て、いつかは自分も人のために何かできることはないかと常々考えていたところ、東大阪市消防団に女性消防団員の採用があることを聞き、市民の安全・安心を守るため、私も役に立てるのではないかと思い消防団に入団されました。

平成21年5月に入団以来、平成26年4月から班長、平成31年4月からは部長に就任されました。教育訓練では平成21年5月に初任科教育を修了後、初級幹部科、幹部科初級指導課程（市教育）を修了、また平成21年10月には応急手当指導員を取得されました。

主な消防団活動としては、出初式、東大阪市消防表彰式、恩智川水防訓練・中河内地区支部消防総合訓練、大阪府消防大会、中河内防災フェア、東大阪市民ふれあい祭りパレード・火災予防運動に伴うパレード、普通救命講習・プール開放前の救命講習・小学生の防災教育、女性団員連絡会議・女性消防団員会議などを行っておられます。

全国女性消防団員活性化大会に参加したことは良い経験と話す山本部長。全国で活躍する女性消防団員と出会えたことから、地域による活動内容の違いなど、様々な事を知ることが出来たのが刺激になり、また自分たちの活動がまだまだであると感じ、今後、いろいろなことに挑戦してみようという気持ちが沸き上がったとのこと。

また、本市消防団の女性消防団員は、入団と同時に応急手当指導員の資格を全員取得するため、普通救命講習やイベントで行われる救命体験ブースで市民の方々に指導することが出来ますが、その中で、地域のいろいろな方々に出会え、話をすることがすごくうれしく、また、指導後に「ありがとうございました。とても勉強になり役に立ちます。」と言われると、女性消防団に入団していて本当に良かった、人の役に立てていると感じ、女性消防団員として誇りに思います、と話していただきました。



真面目で優しい性格である山本部長は、人前で話すことが苦手なため、時折、苦勞されている時もありますが、当市の女性消防団員のリーダーとして一生懸命頑張っています。人のために何か役に立つとの思いで入団されたので、消防団活動の出席率も100%に近く、積極的に活動されているため、他の団員からも慕われています。

東大阪市では、まだまだ消防団の知名度が低く、特に女性消防団員の活動は、あまり知られていない部分が多いです。山本部長はこれからも「女性目線と女性ならではの！」をモットーに活躍し、いろいろな活動に挑戦することで女性消防団員を多くの方々に知ってもらい、男性と違った女性目線で市民の安全・安心を守るため、努力を惜しまないとの決意をもっておられます。

